

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づいて、下記のとおり成果指標(KPI)を公表いたします。

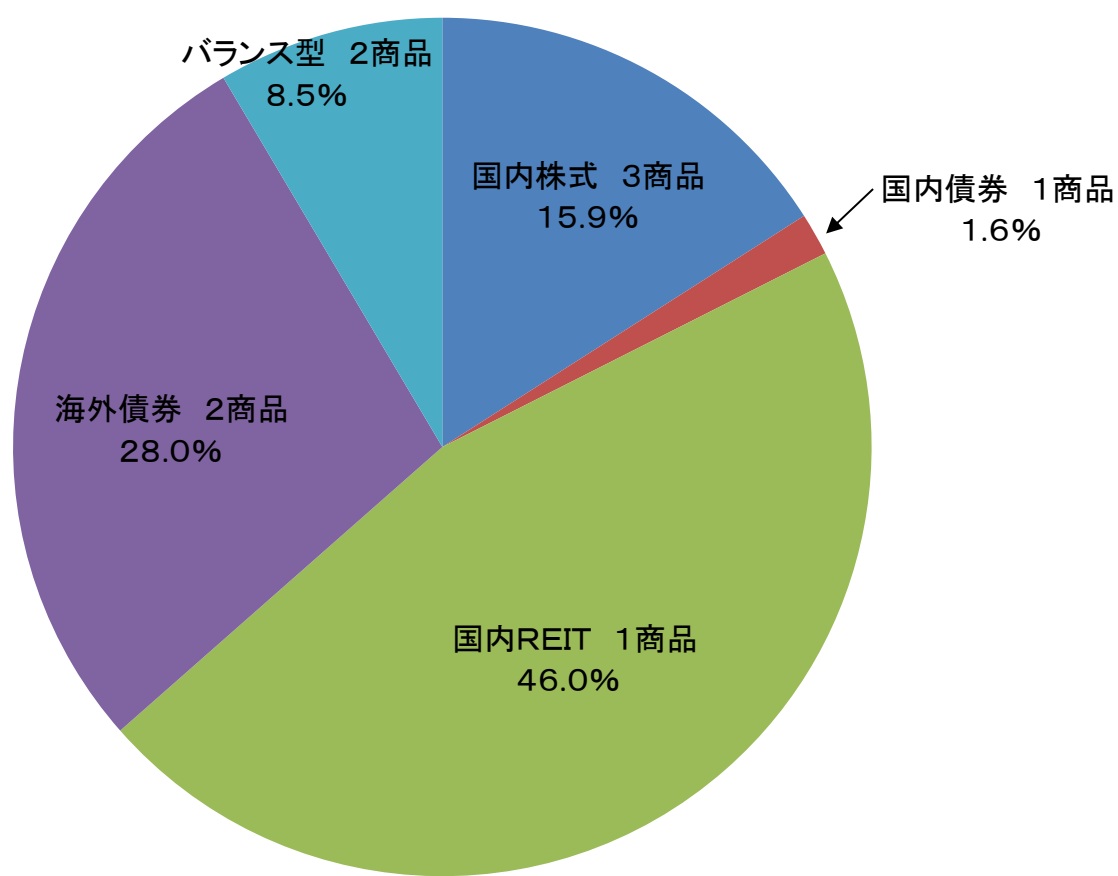
館林信用金庫

2020年3月末現在

① 投資信託の取扱状況(共通KPI)

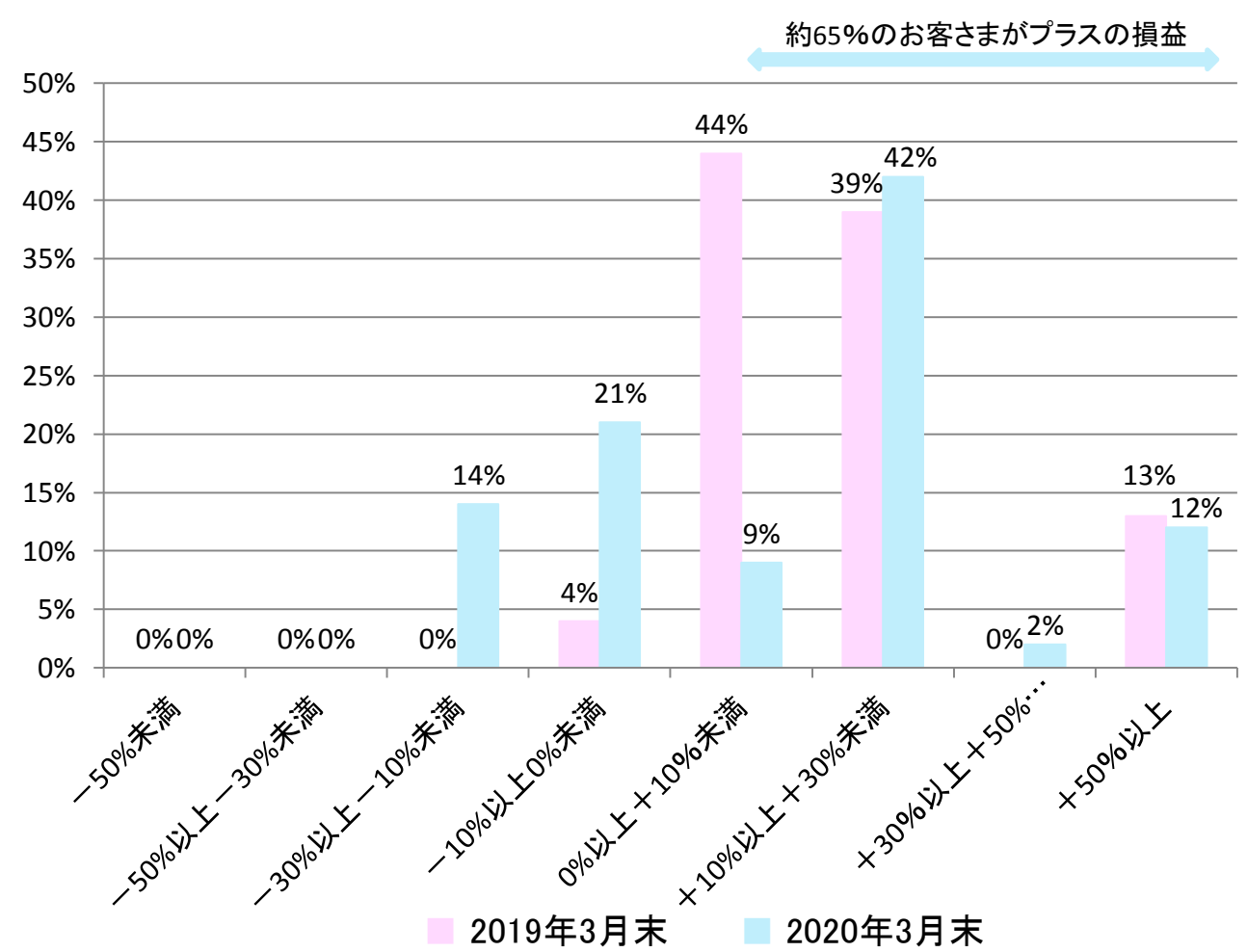
順位	主な投資対象	ファンド名	販売額(単位:千円)	販売額構成比	コスト	リスク	リターン
1位	国内REIT	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	131,814	45.9%	1.49%	13.16%	-0.25%
2位	海外債券	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	56,101	19.6%	1.71%	5.19%	-0.56%
3位	国内株式	しんきんインデックスファンド225	32,705	11.4%	0.88%	17.06%	0.87%
4位	海外債券	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	24,119	8.4%	1.54%	7.44%	-3.03%
5位	バランス型	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	22,022	7.7%	1.60%	10.00%	-1.28%
6位	国内株式	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	6,769	2.4%	1.54%	18.09%	-2.26%
7位	国内株式	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	6,270	2.2%	1.09%	22.31%	-4.40%
8位	国内債券	しんきん公共債ファンド	4,589	1.6%	0.66%	1.03%	0.05%
9位	バランス型	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	2,411	0.8%	1.84%	7.28%	-1.75%
合計(販売額・販売額構成比)・残高加重平均値(コスト・リスク・リターン)			286,802	100.0%	1.49%	10.55%	-0.55%

② 投資信託の商品種類別販売額の構成比と取扱数(自主的なKPI)

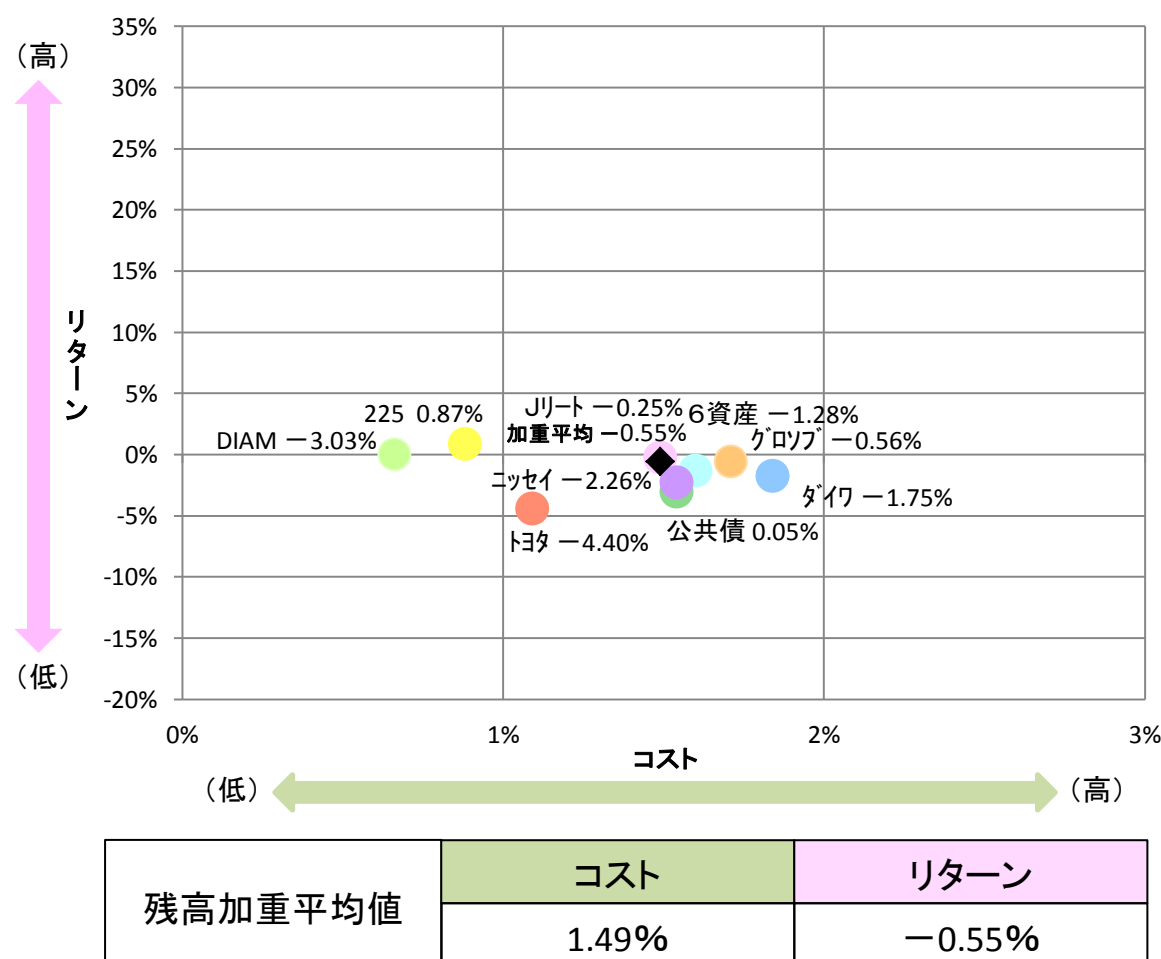


③ 投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)

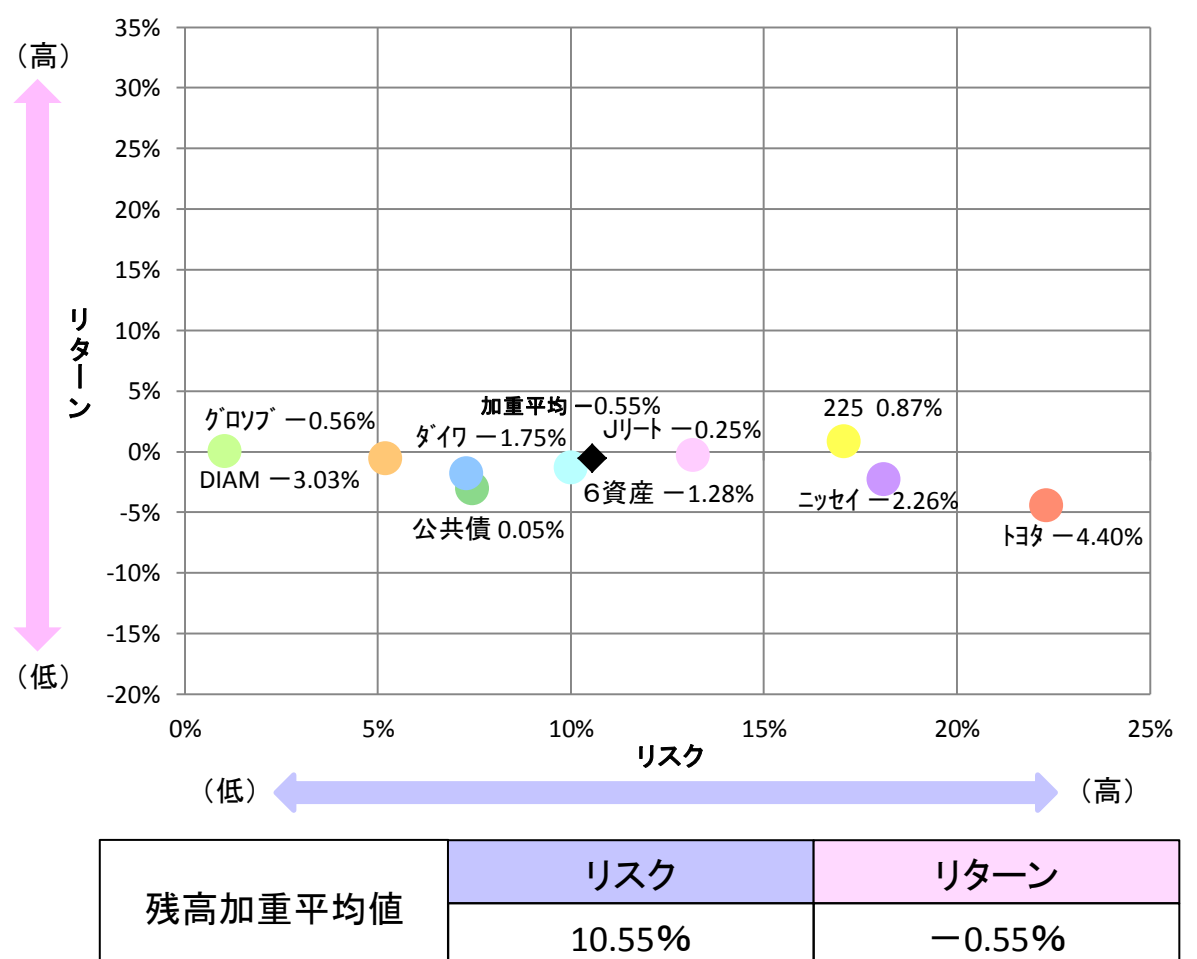
※ お客さまの投資信託の損益状況をグラフにしたものです。



④ 投資信託のコストとリターン(共通KPI)



⑤ 投資信託のリスクとリターン(共通KPI)



○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、投資信託の基準価額が大幅に下落した為、取扱いをしているすべての投資信託において、コストがリターンを上回る状況です。

(注1) 表中の%は、各投資信託のコストに対するリターンを表示しております。
 (注2) コストは、販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値。
 (注3) リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。

○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、リスクが大幅に上昇しています。ただし、債券に投資する投資信託はリスクの上昇が抑えられています。

(注1) 表中の%は、各投資信託のリスクに対するリターンを表示しております。
 (注2) リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。
 (注3) リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。